

市議会3月定例会行政報告

順調に進む建設工事

市議会三月定例会が招集された三月六日、
高山市長が行政報告をしました。その中から
主なものをお伝えします。
なお、審議された議案などについては、次
号でお知らせします。

水田農業確立対策

昭和六十三年年度の転作は、水
田農業確立対策に加え、米需給



均衡化緊急対策が導入された中
で、目標面積九百八十ヘクタール
に対し、実施面積九百八十一
ヘクタールで、達成率一〇〇・
一%となりました。

売り渡し予約限
度数量は、異常低
温で作況指数九〇
「著しい不良」と
なったことにより、
限度数量二十三万
九千九百四十六俵
に対し、出荷数量
十九万四千七百四
俵で、出荷率八一・
一%。
また、他用途利
用米は、契約数量
一万五千六百六十
四俵に対し、出荷
数量一万六百六十

四俵、出荷率六八%となってい
ます。

六十三年度は全国の作況が「や
や不良」のため、市では米の第
三次過剰が回避できるとの見込
みで、現行の米需給均衡化緊急
対策の緩和を強く要望してきま
した。しかし、現在も米の在庫
は依然過剰基調にあるというこ
とから、引き続きこの緊急対策は
実施されることになりました。

したがって、平成元年度の各
農家への転作等目標面積の配分
は、緊急対策分を含めて、六十
三年度同様に、一律二四・六%
とします。

また、他用途利用米について
は、緊急対策分として六十三年
度より千二百四十八俵多く配分
がありましたので、各農家へは、
転作目標面積に一律一七・八%
(六十三年度は一六・五%)で
配分します。

なお、売り渡し予約限度数量
は、六十三年度と同様に転作目
標面積、保有米、基準反収を勘
案して配分します。

平成元年度は、水田農業確立
対策前期三年の最終年に当たり
ます。前期対策の着実な推進と
後期対策への円滑な移行に向け
て、橋渡しとなる重要な年です
から、農業の新しい展開を見い
出すよう努力します。

県北空港

今年度、県では秋田県北空港
建設に向けての基礎調査として、
空港適地調査を実施しました。
その第一回中間調査結果では、
当市の二地区を含む計三十四地
区が抽出されました。

県ではその後の調査で、航空
機騒音問題等社会条件などをク
リアできる可能性の高い地区と
して、三十四地区の中から大野
台など四方所を適地と選定しま
した。このことは、今年二月末
に開かれた秋田県北空港期成同
盟会の拡大役員会に報告されま
した。

この報告の中で、今年度中に
最終候補地を決定したいとの要
望があったため、同盟会では三
月十九日に臨時総会を開き、対
応策を決定する予定です。

当市としては、高速交通体系
の整備によって、一層利便性
を高めるため、同盟会を中心に
県北一丸となって県北空港建設
に向けて取り組んでいきたいと
思います。

市長メモ



No.5

ピッカピッカの
一年生

入学おめでとうございます。
待望の新一年生、それぞれの
学校でお兄ちゃん・お姉ちゃん
が皆さんを心からお待ちしてい
ます。

ついこの前、秋田魁新報とA
BSが楽しい集いを開催してく
れました。県北明るい社会づ
くり協議会からは、交通安全の
シンボル「黄色い帽子」を一人
に一つずつ頂きました。深く感
謝申し上げます。

「約束を守り」「自分のことは
自分で出来る」「新しい良い友
達をたくさんつくり」「良く遊
び良く学び」「明るく健やかな」
子供の成長を、お父さん・お母
さんだけでなく社会が願ってい
るのです。

お父さん・お母さん、子供に
勉強を強いるよりも、勉強した
くなるような家庭環境をつくる
ために工夫しましょう。子供た
ちは必ず私たちの期待にこたえ
てくれます。小さな芽は、良い
環境下で大樹に育つのですから。

高山市教育委員会